

# 西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第13号

発行日：平成二十二年四月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28—9002

## シンポジウム「あすの西成を考えよう」

### 6部会長が協議の経過報告と活動計画素案を発表

西成連区地域づくり協議会では、21年度に向けての活動計画素案を報告する全体会議を、谷一夫・一宮市長や、西成連区内選出の5市議会議員を迎え、2月23日（月）19：00、西成公民館2階大会議室で開催しました。

地域住民の自主的な活動を目指す「西成連区地域づくり協議会」が誕生して、ただちに6部会が組織され、西成地域の特徴を生かすための、積極的な協議が重ねられてきました。自由な発想で、地域を生かす事業の企画立案に向けた、これまで各部会が意欲的に取り組んできた協議経過と、活動計画の一端を発表いただきました。

このシンポジウムでは、各部会での協議概要を報告することにより、よりよいあすの西成連区づくりのための意見を、相互に共有するために開催されました。

6部会長から報告された「あすの西成づくり」のための活動計画素案について、紙面の都合もあり、概要を報告します。（発表順・敬称略）

#### ●地域福祉部会（発表者：部会長 堀尾敏郎）

福祉の原点は家庭であり、地域福祉には向う三軒両隣の思想が大切だ。協議内容を①校下毎に開催される敬老会の実施方法 ②要援護者を見守るネットワークの確立——に絞込み協議を重ね、西成ならではの温もり溢れる方策を検討し構築する。

#### ●生活・環境・衛生部会（発表者：部会長 原良仁）

住みやすい西成連区づくりが使命だと認識し、①景観の美化 ②魅力的な高齢者教養講座の実施——に絞り込んだ。先ず景観美化についてはキーワードの「連」に因み西成連区一斉の「ごみゼロ運動」を、教養講座には他校下からの参加も呼びかける。

#### ●交通・防犯・防災部会（発表者：部会長 坂井直行）

交通・防犯の現況を一宮警察署からゲスト招き聴取。登下校時の子ども見守り隊の活動が、校下ごとに微妙に異なり、出来るものから統一したい。防災面では、ゲリラ豪雨水害や西成南・北消防団の活動などを確認、地域の連帯意識高揚が必要である。

#### ●健全育成部会（発表者：部会長 野崎勇夫）

家庭ではしつけやマナー、学校では勉強や団体生活を教え、地域では町内会や子ども会で絆を体験させるなど、次代の西成を担う青少年の健全育成は大切だ。西成連区に健全育成の風土を醸成するための、標語募集・全戸配布で働きかけを模索して行く。

#### ●地域振興・保全部会（発表者：部会長 谷昌彦）

西成の伝統的な行催事などの情報を共有し、交流が盛んになれば活性化する。55町内に要請し「行催事情報」を調査している。また、西成連区内で既に活躍中のサークルなどを紹介する、パンフレット掲出棚を西成公民館のロビーに設置した。

#### ●広報部会（発表者：部会長 瀬瀬幹康）

この「西成連区地域づくり協議会だより」は全戸配布しているが、時代の趨勢でデジタル化が急務である。西成の多大な情報に対処できるホームページを開設し、ブログの併用を前提に検討してきた。決定したドメイン名は 138nr.com

限られた紙面で詳細な報告はできませんでしたが、6部会とも「西成の将来を想う」熱のこもった協議結果の発表をしていただき、質疑応答の時間を割愛しても、やっと西成公民館の閉館時間に合わせたほどの盛り上がりで、シンポジウム「あすの西成を考えよう」は成功裡に終わりました。

これからは、新たな事業を推進するための企画立案と、関連部署・他部会との調整を加えつつ、西成連区地域づくり協議会の総会でご審議いただき、ご意見やご要望をいただきながら、実施できることから一つ一つ着実に手がけて、地域づくりの活動が連区の皆さんにも見えるよう努めてまいります。